

CSR Summary Report 2018



この京セラドキュメントソリューションズ「CSR Summary Report 2018」では、2017年度の当社のCSR活動のハイライト、製品の環境への取り組み、グローバルな環境への取り組み、および環境性に優れた製品を作り出す工場の取り組みを、ご報告致します。

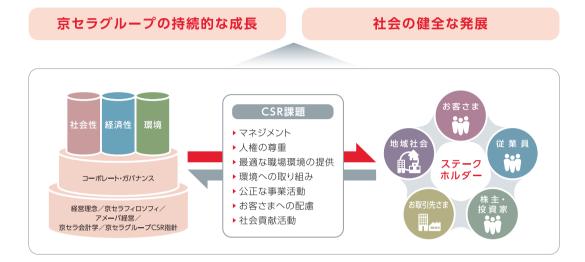
CSRとコーポレート・ガバナンス	1
CSR活動ハイライト	2
特集:生物多様性保全の取り組み	3
環境ラベル取得製品	5
環境保護活動	6
クリーン&グリーンプラント	7
● 玉城丁場(三重)	

- 枚方工場(大阪)
- ●石龍工場(中国)
- ●ベトナム工場



京セラドキュメントソリューションズのCSR

京セラドキュメントソリューションズは、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営の理念とし、「人間として何が正しいか」を判断基準とする「京セラフィロソフィ」をベースとして経営を行い、基本的責務から社会貢献までの10項目を定めた「京セラグループCSR指針」に従い、CSR活動を展開しています。

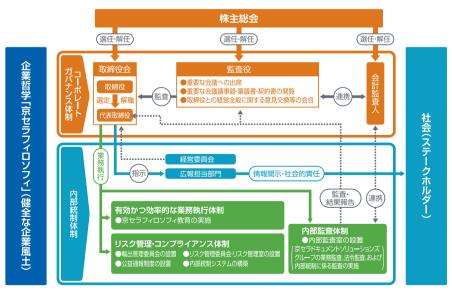


$\rangle\!\rangle\!\rangle$

コーポレート・ガバナンス

Corporate Governance

京セラドキュメントソリューションズは、京セラグループの一員として、京セラフィロソフィをベースに経営理念の健全性および公平、公正かつ透明性の高いコーポレート・ガバナンスを実現し、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するため、以下の体制でコーポレート・ガバナンスと内部統制を遂行しています。





2017年度 CSR活動ハイライト

日本パッケージングコンテストで テクニカル包装賞を受賞

8月30日に「2017 日本パッケージングコンテスト」(主催:公益社団法人 日本包 装技術協会)」の表彰式が行われ、当社プリンターのオプションカセット用の梱包材 がテクニカル包装賞を受賞しました。

このコンテストは、優れたパッケージとその技術の普及を目的として毎年開催され ており、その年のパッケージの最高水準を決定するものです。

「高性能パルプモールド緩衝材による包装サイズコンパクト化」と題した受賞作品 は、製品の突起部を保護するために、包装材の一部を折り曲げ、凹部に合った仕様 とすることで、ケースを大型化させずに突起部を保護することが可能になりました。 当社が独自に行った評価試験では日本工業規格(JIS)より厳しい基準をクリアして おり、形状を工夫することによって、従来に無い高い緩衝性能を持たせることがで きました。また左右の部材を共通使用することで、包装部材の点数と使用量削減を 実現したことが、高く評価されました。



賞状





パルプモールドの一部を折り曲げることで、包装材を 大型化させることなくペーパーフィーダーの突起部 (位置決めピン)を保護できる

京セラドキュメントソリューションズ アメリカが 京セラドキュメントンソューションへ 「Toys for Tots」プログラムに参加

「Toys for Tots」プログラムは、米国海兵隊予備役の方々が設立した財団による サポートを受けて、1991年から続けられている、貧しい家庭の子どもたちにおも ちゃをクリスマスプレゼントとして贈る慈善活動です。プログラムの支援を始めて 12年目となる2017年は、クリスマス前に社員から募った合計150個のおもちゃ が同プログラムに寄付されました。



おもちゃをプレゼントした社員と財団の代表

京セラドキュメントソリューションズ オーストラリアが 「ビジネス・クリーンアップ・デイ」に参加

「ビジネス・クリーンアップ・デイ」は、毎年1回オーストラリア全土で行われるボラ ンティア清掃活動で、京セラドキュメントソリューションズ オーストラリアは2003 年からこの活動に参加しています。2017年度は、社員13名がこの清掃活動に参 加し、社屋から8km程離れたシドニー郊外のメドーバンク公園を清掃しました。2 時間の清掃の後、ペットボトルやバケツ、牛乳箱などのゴミ袋20袋分のゴミを拾 い集め、公園は見違えるようにきれいになりました。



清掃活動に参加した社員

京セラドキュメントソリューションズ本社・枚方工場が 小学校にて理科特別授業を実施

京セラドキュメントソリューションズ本社および枚方工場では、社員講師による「理 科特別授業」を小学6年生に実施しました。授業は、1時限目に静電気を利用して コピーができる仕組みを学び、2時限目に手作りした装置を使ってコピーの仕組 みを体験するハンドコピー実験の2つで構成されています。子どもたちは、描いた 絵を自分の手でコピーができることに感激し、納得のいく画像ができるまで何度 もコピーの実験をしていました。



ハンドコピー実験を指導する社員

〉〉〉特约

生物多様性保全の取り組み

京セラドキュメントソリューションズでは2012年より生物多様性保全活動をEMSの活動に組み込み、国内の各事業所で生物多様性リスク調査を行い、その結果をもとにリスクの改善に取り組んできました。2016年からは生物多様性の保全活動に重点をおき、その中でも今では店頭で見かけなくなった「なにわの伝統野菜」の復活に取り組み、消えゆく野菜の遺伝子を保全し、遺伝的多様性の維持を図っています。また社会貢献活動の一環として、「琵琶湖での外来種駆除活動」および「三草山ゼフィルスの森保全活動」などの生物多様性保全活動にも取り組んでいます。





なにわの伝統野菜の栽培

大阪は江戸時代「天下の台所」と呼ばれたように、古くから食文化が栄え、その食文化を支える大阪独特の野菜が多数ありました。しかし、戦後、農産物の生産性を上げるための品種改良や農地の宅地化、食生活の洋風化が進み、地域独特の歴史や伝統を有する品種が次々に店頭から消えていきました。近年、こうした伝統ある野菜を見直そうという機運が高まり、昔ながらの野菜を再び味わえるよう、大阪府では「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組んでいます。現在、大阪府により玉造黒門越瓜や鳥飼茄子、守口大根、天王寺蕪など、18種類が「なにわの伝統野菜」に認定されており、当社はそのうちの4種類を本社敷地内で栽培し、貴重な遺伝子の保全に取り組んでいます。

当社が最初に「なにわの伝統野菜」の栽培に取り組んだ「玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろうり)」は、江戸時代、ちょうど当社の本社正門前辺りにあった大坂城玉造門(黒門)近辺で栽培された越瓜で、当時はぬか漬けにしたものが玉造の名産品でした。お伊勢参りの道中食ともなったこの越瓜は、明治時代以降、近代化の波に押され姿を消していましたが、長い年月を経て2002年に玉造稲荷神社が栽培を始め、種を増やし、少しずつその栽培の輪が広がっていきました。当社は2016年から玉造稲荷神社のご協力のもと、この越瓜を本社敷地内で大切に育てており、7月に開催される当社の夏祭りで、収穫した越瓜を浅漬けにし、来場者の皆さんに地元玉造の伝統野菜を味わっていただいています。

また2017年9月からは「なにわの伝統野菜」の「天王寺蕪」と「田辺大根」を栽培しています。1月には収穫のピークを迎え、寒いなか甘みを ぎゅっと蓄えた蕪と大根は、社員食堂でかぶら汁にして味わいました。そして2018年4月からは「勝間南瓜」(こつまなんきん)の栽培に挑戦して おり、収穫した南瓜は社会貢献活動でお付き合いのある福祉施設に無償提供し、当社で毎月開催される福祉施設の販売会で、この南瓜を使用 したクッキーやかぼちゃパンを販売していただく予定です。

都市化が進み農地が減ってしまった今だからこそ、都市の真ん中で地元大阪の伝統野菜の遺伝子を守り育てていくという活動は、大阪市に本社を構える企業として必要なことだと感じています。

当社は経営思想「共に生きる(LIVING TOGETHER)」のもと、今後も引き続きさまざまな形で生物多様性保全活動に取り組んでまいります。

(((当社が現在、栽培に取り組んでいる「なにわの伝統野菜」は、次の4種類です。)))

夏期栽培 4月~8月

玉造黒門越瓜 (たまつくりくろもんしろうり) 大坂城の玉造門(黒門)付近が発祥地。

大坂城の玉造門(黒門)付近が発祥地 長さ約30cm、太さ約10cmの 長円筒型の瓜。



勝間南瓜(こつまなんきん) 西成区玉出町(旧勝間村)が発祥地。 1kg弱の小型の日本かぼちゃ。

冬期栽培 9月~3月

天王寺蕪(てんのうじかぶら) 天王寺付近が発祥地。 直径約8cmの扁円型の小蕪。





田辺大根(たなべだいこん) 東住吉区の田辺地区の特産であった 白首大根。長さ約20cm、太さ約9cmの ずんぐりとした大根。

(((以下は、2017年6-7月に行われた、玉造黒門越瓜の栽培から収穫までの記録です。)))







2017年6月 苗の植え込み



2017年7月 雄花がつき始める



2017年7月 収穫前の畑



2017年7月 初収穫



2017年7月 夏祭りにて実施した、 玉造黒門越瓜の浅漬けの試食会

その他の生物多様性保全活動

琵琶湖における外来種の駆除活動

当社では、2011年度より、琵琶湖南部の大津市なぎさ公園 (滋賀県) で、琵琶湖の生態系に深刻な悪影響を及ぼす、ブラックバスやブルーギルなどの外来種の駆除活動を行っております。また、活動終了後には、なぎさ公園の清掃活動も合わせて行っています。

琵琶湖は淡水魚の重要な生息地となっています。滋賀県全体で外来種駆除を推進しているにもかかわらず、外来魚の生息量は年々増加し、琵琶湖における外来魚の生息量は約1,240トンいると推定されています*。 **滋賀県水産課公表のデータより



駆除活動を行う社員ボランティア

三草山ゼフィルスの森保全活動

当社では2010年度より、大阪府の最北端、能勢町にある「三草山ゼフィルスの森」の保全活動を行っております。

三草山は大阪府の能勢町と兵庫県猪名川町の府県境に位置する標高564mの低山です。頂上付近には、広葉樹林の雑木林に覆われ、野生動植



ナラガシワの苗の植樹

物の住処となっているゼフィルスの森が広がり、そこには、日本に生息する希少種のミドリシジミ類のゼフィルスという蝶25種類のうち10種類が生息しています。この地域は大阪府自然環境保全条例に基づき、緑地環境保全地域に指定されており、「日本の棚田百選」にも選ばれている、昔ながらの里山の風景を残した場所です。

保全活動では、蝶の幼虫の餌となるナラガシワ・ヤマハンノキ・イボタノキの樹を鹿が食べることを防ぐための防鹿柵を設置するとともに、それらの苗を植樹しています。過去3年間の活動で、0.38ヘクタールの敷地に防鹿柵を設置し、その敷地に、185本の苗を植樹しました。

松名瀬干潟の清掃活動

玉城工場では地域貢献活動として、毎年、三重県松阪市の櫛田川河口部に広がる「松名瀬干潟」の清掃活動を実施しております。松名瀬干潟は3種類の干潟が整った伊勢湾最大級の干潟で、海浜植物や水生生物など豊かな生態系が築かれた貴重な干潟です。NPO自然観察の指導員である三重中学校の先生やその教え子である中学生の皆さんから、干潟に生息する生き物などの説明を受けながら、海岸に散らばるゴミを参加者全員で拾い集めております。



清掃活動の様子

2017年度 環境ラベル取得製品

環境に配慮された製品であることを、お客さまに分かりやすく伝えるために 環境ラベルの制度があります。当社は、環境性および経済性を徹底的に追 求したエコシスコンセプトに基づいた製品開発の取り組みを継続するとと もに、その優れた性能をお客さまに広く知っていただくため、積極的に環境 ラベルの取得を進めています。

エコシスコンセプトに基づいた製品とは、部品を極限まで長寿命化し、部品や消耗品の廃棄を少なくして環境への負担を小さくする(Ecology)とともに、経済的なメリットもお客さまに提供する(Economy)ことができる製品です。1992年に初代エコシスプリンター「ECOSYS FS-1500」を発表し、1997年にはページプリンターとして「ECOSYS FS-1700/3700」が世界で初めてドイツブルーエンジェルを取得しました。

下表に、2017年度に環境ラベルを取得・登録した製品を示します。



エコシスコンセプト





2017年度 環境ラベル取得製品

一:対象国販売無 ※:前年度に取得済 空欄:2018年4月以降取得申請予定

製品名	環境ラベル	3R・破エネ般計 エコマーク (日本)	EPEAT (アメリカ)	ブルーエンジェル (ドイツ)
	ECOSYS M8124cidn	_		0
	ECOSYS M8130cidn	_		0
	ECOSYS M4125idn	_		0
	ECOSYS M4132idn	_		0
複合機	TASKalfa 350ci	_	_	0
後口版	TASKalfa 2460ci	0	_	_
	TASKalfa 2510i	0	_	_
	TASKalfa 4010w	0	_	_
	TASKalfa 4011w	0	_	_
	TASKalfa 4012w	0	_	
	ECOSYS P2235dw	_	○ (Silver)	0
ブリンター	ECOSYS P2040dw	*	○ (Silver)	0
	ECOSYS P3045dn	_	○ (Silver)	0
	ECOSYS P3050dn	_	○ (Silver)	0
	ECOSYS P3055dn	_	○ (Silver)	0
	ECOSYS P3060dn	0	○ (Silver)	0
	ECOSYS P8060cdn	0	○ (Silver)	0



環境保護活動実績(2017年度)

京セラドキュメントソリューションズは、世界のほとんどの事業所・工場において、ISO14001を認証取得し、大気および水質などの環境にかかわる規制の順守、地球温暖化防止のための省エネルギーおよび省資源に努める環境保護活動を、グローバルに継続して行っています。

1. 各拠点のCO₂排出量(2017年度)*1



※1 電力由来CO2排出量



2. 各拠点の電気使用量・産業廃棄物排出量(2017年度)

	京セラドキュメント ソリューションズ 日本国内グループ	石龍工場 (中国)	ベトナム工場	京セラドキュメント ソリューションズ アメリカグループ	京セラドキュメント ソリューションズ ヨーロッパグループ	京セラドキュメント ソリューションズ グループ合計
電気使用量(kWh)	54,082,539	31,296,309	7,899,790	4,399,426	3,358,283	101,036,347
産業廃棄物排出量(kg)	622,918	408,310	900,143	61,660	69,823	2,062,854

3. 日本国内での環境保護活動実績(2017年度)

環境目的	2017年度目標	2017年度実績	
低炭素社会への	温室効果ガス排出量原単位の削減(kg-CO ₂ /t) 目標:1.0%削減(2016年度比) 原単位:トナー生産量	18.6%削減 LED照明導入や設備管理値の 見直しなどにより、電気使用量を削減	
	エネルギー使用量(原油換算量)原単位の削減(kL/t) 目標:1.0%削減(2016年度比) 原単位:トナー生産量	20.1%削減 LED照明導入や設備管理値の 見直しなどにより、電気使用量を削減	
循環型社会への	産業廃棄物排出量原単位の削減〔kg/t〕 目標:1.0%削減(2016年度比) 原単位:トナー生産量	排水設備の改善により、 トナー排水の排出量を大幅に削減	
	水使用量原単位の削減〔m³/t〕 目標:1.0%削減(2016年度比) 原単位:トナー生産量	23.3%削減 トナー生産量の増産により、生産設備を 効率的に稼働し、設備冷却水を削減	

玉城工場

三重県度会郡玉城町野篠字又兵衛704-19

事業内容:カラー・モノクロトナーの製造

敷 地 総 面 積:101,511㎡ 建築延床面積:36,552㎡ 緑 化 率:20.3%

従業員数:304名(2018年3月末現在)電力使用量:32,850,949kWh(2017年度)水使用量:73,567㎡(2017年度)産業廃棄物排出量:475,464kg(2017年度)



玉城工場は、各種トナー(複合機やプリンター用の粉末状インク)の開発から生産までを担う、トナー生産の主力工場です。また、複合機などの機器 組立に用いる治工具の開発も行っており、「ものづくり技術」を継承するためのマザープラントとしても、その役割を担っている重要な拠点です。この重要な事業活動を永続的に発展させ続けるためには、地域社会との共生が求められています。当工場の周辺は自然環境に恵まれており、住宅地、農作地にも隣接しています。そのため当工場は、特に環境保全と地域との共生、安全な職場の実現を最重要課題と認識して取り組んでいます。

廃棄トナーの有価物化

工場の生産量拡大に伴い、産業廃棄物は年々増加傾向にありますが、 毎年削減目標を掲げて産業廃棄物を削減してきました。2012年度から取り組んでいる廃棄トナー(製造時に発生する製品化できないトナー)の再利用については、有価率を80%以上まで向上させることが

できました。また、廃プラスチックについても、分別を徹底することで、80%以上がプラスチック原料(有価物)として活用できるようになりました。



製鋼用廃棄トナーの保管場所

Kids'ISO 14000環境出前授業を実施

三重県では、三重県環境基本計画を踏まえ、環境教育の実践活動として、県内の小学校児童が家庭における省エネルギーなどの活動を通じて環境への関心を高める「Kids'ISO 14000プログラム(入門編)」の取り組みを推進しています。このプログラムに協力し、玉城町の全4

小学校で、授業を行いました。保護者や先生方からは「省エネに対する意識向上の良い機会になった」というお言葉をいただきました。



授業の模様

構内通路での安全確保の取り組み

当工場では、構内屋外通路における歩行者の通行帯を緑色で区別することにより、構内歩行者専用通路の設定を行いました。これにより、 社員はもちろん、外部入場者においても通行区分が明確となり構内 通行の安全確保に大きく寄与することができました。





構内歩行者専用通路

夏祭りを開催

2017年7月29日に開催された夏祭りでは、地域の皆さまやお取引先さま、社員とそのご家族合わせて約1,700名に来場いただきました。福祉バザー、PK合戦、塗り絵などの催し物コーナーや、ヨーヨー・金魚すくいなどの模擬店、社員バンドによる演奏が、大変好評でした。地元の「玉丸音頭保存会」による踊りもご披露いただきました。最後は、迫力満点の夏の風物詩「打ち上げ花火」を実施しました。



迫力満点の打ち上げ花火

枚方工場

大阪府枚方市津田北町1-38-12

事業内容:複合機・プリンター(米国政府調達機器)、

モノクロトナー、感光体ドラムの製造、

商品およびパーツの保管と配送

敷 地 総 面 積:46.017㎡ 建築延床面積: 58,978㎡ 化 率:18.4%

従 業 員 数:197名(2018年3月末現在) 電 力 使 用 量:14,843,381kWh(2017年度)

水 使 用 量:32,389㎡(2017年度) 産業廃棄物排出量:58,174kg (2017年度)



枚方工場は、大阪・京都・奈良の三都市から程近く、近隣には穂谷川、探島地として有名な山田池や「モニタリングサイト1000*1」、「日本の里100 選※2」の一つに選定された「穂谷地区の里山」、関西文化学術研究都市の一画を占める学術研究地区があります。そして、その自然豊かな近隣に は、関西文化学術研究都市の一画を占める学術研究地区があり、まさに自然と人と社会が共生する調和に満ちた絶好の環境と言えます。当工場は、 枚方津田のこの地に設立以来50余年になります。これもひとえに近隣をはじめ社会の皆さまのご支援のおかげと深く感謝し、今後も引き続きより 積極的に自然環境の保護に貢献できるよう、安全・安心を最優先に、事業活動に取り組んでまいります。

※1:環境省による里地調査の重点調査地域 ※2:朝日新聞社・(財)森林文化協会による選定

CSR報告会を開催

2017年11月1日に、当工場において、CSR報告会を開催しました。枚 方市副市長をはじめ行政官公庁、近隣自治会の方々、総勢10団体15 名に参加いただき、当社の環境経営や社会環境活動、また当工場の 環境安全防災活動への取り組みをご報告しました。また、報告会の後、

環境性と経済性に優れ た製品のデモンストレー ションを行い、環境に配 慮した当社の取り組み も理解していただくこと ができました。



報告会の様子

枚方市「緑のカーテンコンテスト」の優秀賞を受賞

枚方市では、地球温暖化対策や暑 気対策の有効手段の一つとして「緑 のカーテン」の設置を市民に呼び掛 けています。そして、このたび、当工 場が、工場管理棟などの建物全体 を覆う、ゴーヤと朝顔でできた密集 度の高いカーテンを作ったことなど が評価され、平成29年度「緑のカー テンコンテスト」優秀賞を受賞しま した。



工場管理棟壁面の緑のカーテン

無災害継続記録4,100日を達成

当工場は、2017年9月26日に無災害継続記録4,100日を達成し、そ の功績がたたえられ、大阪労働局より表彰されました。11月15日に 行われた北大阪労働基準監督署での表彰状授与式では、労働基準監

督署長より「次のステッ プである無災害記録 6,100日を目指し、継続 して安心・安全な職場づ くりをお願いします」と のお言葉をいただきま した。



表彰状

夏祭りを開催

2017年8月5日に開催された夏祭りでは、近隣住民の皆さま、来賓の 皆さま、社員の家族、1,800名を超える方々に来場いただきました。 例年ご参加いただいている府立枚方津田高校吹奏楽部の皆さまの演

奏や抽選会に加え、 関西外国語大学ア カペラサークルの皆 さまが素晴らしい歌 声を披露するなど、 ステージは大変盛り 上がりました。模擬 店も、長蛇の列とな り賑わいました。



枚方津田高校吹奏楽部の皆さまによる演奏

京セラドキュメントテクノロジー

石龍工場中国

中国広東省東莞市石龍鎮方正東路3号

事業内容:複合機、プリンター、感光体ドラムの製造

敷 地 総 面 積:136,969㎡ 建築延床面積:231,792㎡ 級 化 率:21.0%

従 業 員 数:5,151名(2018年3月末現在) 電力使用量:31,296,309kWh(2017年度) 水使用量:375,100㎡(2017年度)

産業廃棄物排出量: 408,310kg (2017年度)



石龍工場は、環境への影響を最小にするため、工場排水・排気は地域の排出基準以上の高い目標を設定し、よりクリーンな状態を維持しています。 省エネ・省資源活動として、LED照明への切り替えと各設備の最新の省エネ設備への転換を進めると共に、生産工程で使用した水についても排水 処理を行い、工場で使用する生産用途設備補給水などへ再利用しています。廃棄物の削減をするためにリユース・リサイクル意識を徹底し、製造現 場の隅々まで無駄のない管理を行っています。工場運営においては、社員の福利厚生に注力しており、工場全体が一つの家族のような一体感のある工場運営を推進しています。

「2017年石龍鎮安全生産大会」で優秀企業として表彰

当工場は、常日頃より安全な職場作りに注力しており、その取り組みが評価され、2018年1月に開催された「2017年石龍鎮安全生産大会」において、石龍鎮政府から優秀企業として表彰されました。



表彰状



他の優秀企業の代表者の方々との 集合写真

企業内保育施設の運営

社会的なインフラが未整備な中国では共働きが一般的で、祖父母・親族の協力がなければ子育てができない労働環境にあります。そこで、 当工場と労働組合は協力して、子どもを持つ社員が安心して働くこと

ができるように、子どもたちを預かる企業内保育施設「童楽園」を 運営しています。

社員からは、「小さな子どもを田舎の両親に預けて働いていました。今回童楽園に入れることになり、一緒に生活できるようになりました。」との声が寄せられました。



童楽園の新年イベント

「京セラクラス」を開設

当工場は、2012年9月から中国各地方の職業専門学校に、企業の技術やノウハウを学生に指導する「京セラクラス」を開設しています。 現在、京セラクラスを5校開設し、計1,129名の学生が在籍し、学生

たちが立派な社会 人として成長することを願って教育して います。



京セラクラスの授業

文化節(夏祭り)を開催

2017年9月2日、第9回目となる文化節を開催しました。今年も社員により準備された70店もの模擬店は盛況で、メインステージでも、社員による踊りや歌、バンド演奏が披露されました。当日は、台風が接近

していたにもかか わらず、約6,500名 の方々に来場いた だき、大変にぎやか な文化節となりま した。



大盛況の模擬店の様子

京セラドキュメントテクノロジー

ベトナム工場

ベトナムハイフォン市VSIPハイフォン工業団地内 No. 56A, 56B and 56C

事業内容:複合機、プリンターの製造

敷 地 総 面 積:200,446㎡ 建築延床面積:76,616㎡ 緑 化 率:20.0%

従 業 員 数:4,122名(2018年3月末現在)

電力使用量:7,899,790kWh (2017年度) 水使用量:76,456㎡ (2017年度)

産業廃棄物排出量:900,143kg (2017年度)



ベトナム工場は、石龍工場に続き、2012年10月1日より生産を開始した京セラドキュメントソリューションズにとって2番目の海外工場です。当工場は、経営理念である「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を具現化するため、ベトナムでナンバーワンの元気な工場作りに励んでいます。さらに、製造拠点としての機能のみならず研究開発部門も設置しており、ベトナムの優秀な人たちがその能力を生かすことができる職場環境を提供することによってベトナムの地域発展に貢献致します。

ベトナムの中学生10名を日本に招待

当工場は、京セラベトナム・京セラコミュニケーションシステムベトナムとともに、公募で選ばれた、ハノイ市、フンイエン省、ハイフォン市在住の中学生10名を、日本に招待しました。

2年目となる今回、子どもたちは、京都市内の観光や、工場の見学に加え、京都市内の中学校での交流会、京セラグループ社員宅での2泊3日のホームステイなどを通じて、他国の文化や多様な価値観に直に触れることができました。



ホームステイ先となった当社社員宅前での写真

歳末助け合い募金活動を実施

ベトナムの旧正月であるテト前に社員へ助け合い募金を呼びかけ、26,246,000ベトナムドン(約12万5千円)の募金が集まりました。それに当工場・労働組合からの拠出金を加え、合計で41,011,000ベトナムドン(約19万5千円)を当工場近隣の小中学校の児童へ文具セットとして提供し、また工場近辺の孤児院へ生活必需品を寄贈しました。





ベトナム マリタイム大学の学生への奨学金の授与

ハイフォン市にあるベトナム マリタイム大学は、1956年に設立されて以降、優秀な卒業生を輩出し続けてきました。当工場では、ベトナムの次代を担う人材の育成を支援するために学生へ奨学金を授与して

います。2017年度は、 5名の学生に奨学金を 授与しました。来年度 も、この活動を継続し ていく予定です。



奨学金を授与された学生

夏祭りを開催

2017年8月5日、第4回目となる夏祭りを開催しました。当日は、約6,200名の皆さまに来場いただきました。ステージ上では、迫力ある獅子舞や衣装をまとった女性社員の踊りなどが行われました。子ども

向けの遊具や施設も 設置し、家族で楽しん でいただくことができ ました。



社員によるダンス



京セラドキュナントソリューションズ株式会社

〒540-8585 大阪市中央区玉造1丁目2番28号 お問い合わせ先:総務本部CSR部 TEL:06-6764-3611

日本語版 https://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/company/csr/ 英語版 https://www.kyoceradocumentsolutions.com/company/csr/ 中国語版 https://www.kyoceradocumentsolutions.com/company/cn/csr.html

記載内容は2018年3月現在のものです。 ©2018 KYOCERA Document Solutions Inc.